

起業体験の実践事例

実践紹介校：仙台工業高等学校

【実践内容】

教育目標を実現するために仙台自分づくり教育で育む態度や能力の5つの力（かかわる力・うごく力・いかす力・みとおす力・みつめる力）を具体的な重点目標として掲げた。この重点目標に関連する教科・領域（特別活動・課題研究）、各学年、保護者・地域との連携においても仙台自分づくり教育推進に向けた具体的取組を設定して地域社会や産業社会が求めている人材を育成するために、生徒一人一人の特性や進路希望等を把握したうえで、専門的で実践的な学習活動を行うことで、知識・技術・技能の習得に取り組んだ。

さらに各科の特色を生かした体験学習（職場体験・インターンシップ・デュアルシステム・ものづくり人材育成・ボランティア活動等）を通して、将来の職業や生き方について考え、社会で活躍できる人材として必要な勤労観や職業観の確立と定着に取り組み、起業家的精神や起業家的資質・能力を養った。



【小学校出前授業・ロボット制御プログラミング教室(機械科)】



【トータルステーションを使用した測量実習(土木科)】



【地域でのボランティア(電気科)】



【インターンシップ(建築科)】

【まとめ・成果・課題・今後に向けて】

これからも学校の特色を生かして体験学習を行い、生徒が社会的に自立するために必要な能力を身に付けていけるようにしていきたい。